



沖縄市議会議員  
桑江 直哉

# ゆがふうちなー

人と人、人と自然、人と沖縄市を結ぶ

なおやの議会報告

— 第1号 —

2012年 2月18日

<http://kuwae708.net>

桑江なおや

検索

桑江なおや 後援会：〒904-2171 沖縄市高原3-14-2 ゆがふプラザ内  
TEL&FAX 098-989-6243 桑江なおや 携帯 080-6492-1608



2010年9月の沖縄市議会議員選挙で当選して早1年が経ちます。多くの市民に支えられ、励ましやご指導を受けながら議員として過ごして参りました。今回、議会報告を作成し市民の皆様にも私の活動を知って頂き、また私自身も1年を振り返り、今後の議員活動に活かして行きたいと思っております。

## 沖縄市議会では

沖縄市議会とは、お金の使い方(予算)と沖縄市の決まり事(条例)を決めることです。議会でそれが沖縄市民や未来の沖縄市にとって良いことなのかを議論します。

私が沖縄市にとって重要だと思ふ事は、福祉向上と市民サービスを充実させ持続可能な市政運営を行う事が市民に望まれていることであると考えています。しかし、実際の沖縄市は、大型の公共事業、一時の建設需要の華々しさに目を奪われ増大する維持費を無視し、そのツケとして今後市民サービスの低下へと向かうのではないかと大変危惧しています。

## 沖縄市の特性活かす

泡瀬干潟・浅海域の埋立は、裁判で経済合理性がない！ムダづかいだ！ということ一度は止まった事業です。

しかし、新しい計画なら大丈夫とまた埋立を進めようとしています。面積は半分なのに費用は倍増。ホテルやビーチ、多目的広場など以前よりも公共施設の割合が増え、計画通りにいっても毎年2億円以上の赤字がでます。東日本大震災以降の沿岸部の埋立て人工島であることから防災対策上の問題が指摘されています。

もし埋立が進んだとしてもこの事業が終われば、赤字や借金返済でより深刻な閉塞感が沖縄市を襲うことも考えられます。

日本一と言われる泡瀬干潟を残し観光の目玉にして、今ある構造物も自然再生の公共事業で撤去し自然を復元する。沖縄の地域特性を活かした自然を再生する事業へと転換する。それが沖縄市民にとって自然も活かし、水産業、建設業、観光業とともに押し上げる持続可能な住みよい街へと向かう政策だと思えます。安心して子育てできる街、安心して住み続けたい街へと舵がとれるよう市政を促して行きたいと思えます。今後の議会でも追求し、提案しながら豊かな沖縄市(ゆがふうちなー)に向けて頑張ります。

## とうとうむじん 燈々無尽

平和・自然を愛する人

元沖縄市長 新川 秀清



早いものです。無名の新人と言われた桑江直哉がトップ当選を果たして一年が経ちました。この間、護憲フォーラムの一員としてライフワークである泡瀬干潟を守る運動をはじめ、地域での活動や辺野古、高江のヘリパッド建設阻止闘争の現場へと幅広い活動を展開していることに接し心から「シタイ」「シタイ」と声援を送っています。私の好きな言葉に「燈々無尽」と

いうのがあります。一本のロウソクや、私たちひとり一人の力は弱いものですが、これを次から次へと灯しつづけていたら尽きることはないという意味です。これからは桑江直哉市議を中心にみんなが灯し続けていきましよう。沖縄市を平和な島を、すべての人々が幸せでありつづける世の中であるために……

## 環境を活かした

まちづくりに期待

沖縄県議会議員 仲村 未央



なおや議員のさわやかで、積極的な活動に私も大きく支えられています。

議員はいちはやく、流通する食品の安全検査体制を確立するよう求めました。

環境を生かしたまちづくりは沖縄市にとって大事なテーマであり、多くの若い人たちが、一貫して自然保護の立場で活動するなおや議員を信頼し、期待し、声を寄せています。

情報収集と調査を通じたなおや議員の議会での鋭い発言は説得力があります。さまざまな専門家との交流も含め、幅広い人脈はなおや議員の強みであり、今後ますます活動の幅を豊かに広げていくことでしょう。私もなおや議員と共に、市議会と県議会、しっかり連携して取り組みます。

また、3月11日の大震災と原発事故によって、私たち人類はコンパクトにできない放射能との向き合いを迫られました。原子力発電所を有しないこ沖縄においても決して他人ごとではなく、なおや

議員を応援してください。

# 主な一般質問事項 (2010年9月～2011年12月)

- ◎学校給食ならびに保育所の食事について  
放射能汚染対策はどうなっているのか？
- ◎水道水の放射能汚染対策について
- ◎小学校の老朽化問題について
- ◎沖縄市の防災対策・津波対策について
- ◎美里・安慶田区画整理事業について
- ◎美東公園(高原地域)の整備状況について
- ◎若夏公園(宮里地域)の整備状況について
- ◎特定用途制限地域について
- ◎図書館のあり方について
- ◎下水道の敷設率と接続率について
- ◎公共施設の磁気ループ設置について
- ◎公共建設物の維持管理について

- ◎沖縄市の防災対策及び台風被害について
- ◎動物愛護管理について
- ◎ラムサール条約登録について
- ◎沖縄市の自然保護に関する  
沖縄市の姿勢について
- ◆東部海浜開発事業  
(泡瀬干潟・浅海域埋め立てについて)
- ◎宿泊率、財政への影響について
- ◎埋立地の駐車場について
- ◎埋立地のアクセス道路について
- ◎沖縄県との協定書について
- ◎埋立地の液状化対策について
- ◎埋立地の防災対策・避難場所について

※質問内容、沖縄市の答弁については、沖縄市議会事務局のホームページでご覧下さい。

今後もみなさまのご指導、ご支援よろしくお願いいたします。

## ワシントン要請行動

2012年1月21日から28日の日程でアメリカ・ワシントンDCに、「アメリカへ米軍基地に苦しむ沖縄の声を届ける会」訪米団のメンバー24人の一員として行ってきました。

主に国防総省、上院・下院議員、その補佐官、シンクタンク、NGOと会い、5つの要請を行ってきました。

### 5つの要請

- ①普天間基地の早期閉鎖、返還 ②普天間基地の辺野古への移設反対 ③普天間基地の嘉手納統合案への反対 ④高江ヘリパット建設の反対 ⑤日米地位協定改定

24人が4班に分かれ、私のいる班は沖縄県議会議員の比嘉京子さんのグループで通訳・サポーターを含め9人体制でした。

私のグループでの役割は、3つ目の嘉手納基地への統合案の問題とその反対の理由について話すことでした。



### <要請団の構成>

- 団 長 山内徳信(参議院議員)
- 副 団 長 糸数慶子(参議院議員)、高里鈴代(団体代表)、安次富浩(団体代表)
- 団事務長 玉那覇哲(沖縄県高教組委員長)
- 沖縄県議 比嘉京子、照屋大河、山内末子 (3人)
- 市議町議 桃原功(宜野湾市)、東恩納琢磨(名護市)、照屋正治(北谷町)、平良識子(那覇市)、桑江直哉(沖縄市) (5人)
- 弁 護 士 池宮城紀夫(嘉手納基地爆音訴訟弁護団長)
- 市民 青年 学生 10名

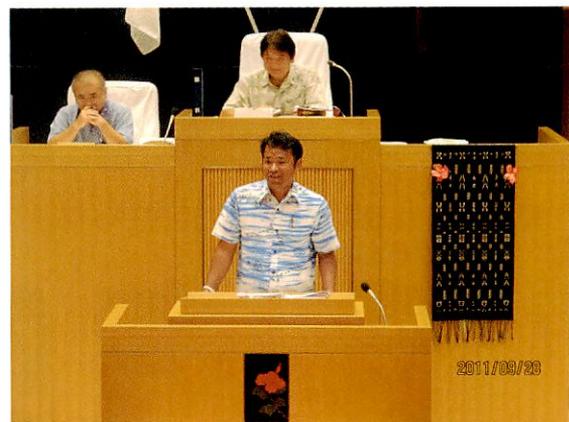


23日から26日の4日間で連邦議員(上院、下院、民主党、共和党)やその補佐官ら、またはシンクタンク、NGOのみなさんと会い、15人の連邦議員・または補佐官、2つのシンクタンク、教育団体、6つのNGOとの交流、イベント参加するなどのスケジュールでした。なおやは、嘉手納基地の現状(爆音問題)と普天間基地統合案への住民理解は得られない旨の説明をしました。※2月4日、96年日米合意見直し(辺野古移設断念!)へ

# 議会での桑江なおや

議会では、お金の使い方(予算)や、沖縄市の決まり事(条例)について話合わせ(審議)賛成か、反対か意志を表明(採決)します。ほとんどの議案は何事もなく進み、事前の調整、修正で議会内で対立することは希です。

しかし、どうしても譲れないものは議会において議論し採決にまで至る案件があります。その時なおやは、どう判断したのか?



## ◆平成22年9月第341回定例会審議

議案第2号:沖縄市特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例

内容:沖縄市北部の都市計画上白地(計画のない)地域において、これ以上産業廃棄物処理施設を集中させないための制限を設ける条例。

決議月日:10月14日 結果:否決(賛成11、退場1、反対17) なおや(賛成)

なおやは、これ以上の沖縄市への産業廃棄物集中は許さないと賛成に回ったが否決された。

## ◆平成23年6月第348回定例会

議案第58号:中城湾港(泡瀬地区)内の公有水面埋立地の用途変更に関する意見について  
(内閣府総合事務局施行)

議案第59号:中城湾港(泡瀬地区)内の公有水面埋立地の用途変更に関する意見について  
(沖縄県施行)

内容:泡瀬干潟・浅海域の新たな埋立に伴う、関連市町村への埋立の同意承認を求める議決

決議月日:6月13日 結果:承認(議案第58号賛成23、反対6、議案第59賛成24、反対5)なおや(反対)

なおやは、東日本震災後の埋立地における防災対策や市の計画に問題があることを訴え、反対討論を行うなど反対に回ったが国・県の計画に全く問題が無いとなんら意見も付けず承認された。

## ◆平成23年6月第348回定例会

議案第63号:沖縄市特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例

内容:沖縄市北部の都市計画上白地(計画のない)地域において、これ以上産業廃棄物処理施設を集中させないための制限を設ける条例。一部現在建築許可申請を行っているものは除く。

決議月日:6月27日 結果:修正可決(全会一致) なおや(賛成)

なおやは、一貫して沖縄市北部地域への産業廃棄物処理施設の制限を呼びかけ、若干の修正はあったが不十分ながら一定の制限をかけることができるということで賛成。

## ◆平成23年9月第349回定例会

議案第65号:沖縄市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例

内容:沖縄市の公立保育所を認可保育所へ移行にあたり、市の施設を社会福祉法人へ移管する条例。

決議月日:9月14日 結果:可決(全会一致、退場2) なおや(賛成)

なおやは、公の機関がしっかりと責任をもって保育を行うべきという姿勢であるが、現在の市立保育所の状況、子ども達への保育サービスは認可保育所になっても変わらない等総合的に判断して社会福祉法人への移管について賛成に回った。しかし、市立保育所の役割、必要性も十分あることから、今後の移管については議論しながら判断して行きたい。

# なおやの奮闘記

地域の行事や沖縄市のイベント等にも参加。  
みなさまの率直な意見、疑問等率直にお聞かせ下さい。  
市民相談も行っています。

## 当選授与式

(2010年9月15日)  
緊張の連続、環境の変化に戸惑いながらもハツラツと。



## 生物多様性国際会議で報告

(2010年10月23日・名古屋)  
泡瀬干潟の豊かさと埋立の問題について報告。



## 生物多様性国際会議NGO集会

(2010年10月24日・名古屋)  
日本中の環境問題をかかえる仲間と世界へアピール!



## 住民監査請求書提出(裁判)へ

沖縄総合事務局埋立中止要請  
沖縄県・沖縄市に請求書提出  
県庁記者クラブで記者会見。



新たな埋立訴訟に向け

## 沖縄市北部産業廃棄物問題

沖縄県副知事へこれ以上の  
沖縄市北部への産業廃棄物集中を  
許さない!



## 埋め立て工事再開へ抗議

(2011年11月10日・東京霞ヶ関)  
内閣府へ工事中断を求める  
要請書提出。院内集會行う。



総理官邸前で工事再開抗議

## 小学校で干潟の浄化実験

小学校にて出張講座、  
貝で干潟の浄化について知り、  
干潟の大切さについて学ぶ。



## 自然観察会を開催!

保育所、小学校、大学生等  
観察会にて干潟の生きもの  
生態について伝える。



## ビーチクリーン&干潟観察会



第6回ビーチクリーン



第7回ビーチクリーン

2010年 7月25日、8月12日  
9月25日、12月5日  
2011年 4月2日、8月7日  
9月25日

※イベント情報は、ブログや  
電話でお問い合わせ下さい。



ゴミ拾いながら遊ぶ



タコ釣り実践

2011/09/25